

【研究名】

骨軟部腫瘍における、DNA 障害型抗がん剤の効果予測バイオマーカーSLFN11 の 発現解析と臨床的有用性の検討

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録や残存検体を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2017年12月31日以前に大阪国際がんセンターで骨軟部腫瘍の摘出手術を受けた患者様を対象とします。

2. 研究目的・方法

骨軟部腫瘍の摘出サンプルを用いて、SLFN11 (schlafen 11、シュラフェン11) の発現解析を行います。基礎的な研究から、SLFN11 の発現が高いと、一部の抗がん剤の効果が高まることがわかっています。本研究では、骨軟部腫瘍においてSLFN11 の発現と臨床成績との関連を明らかにし、抗がん剤の投与に際し、SLFN11 の発現が効果予測バイオマーカー（生体内物質による指標）として有用であるかどうかを検討します。

研究期間は病院長承認後から2022年3月31日までです。

3. 試料・情報の利用拒否

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者さま背景（臨床経過）

試料：骨軟部腫瘍の手術時の摘出サンプル

5. 外部への試料・情報の提供

研究を実施する研究機関への試料・情報提供は、個人情報とは無関係の番号を付して匿名化した状態で行います。また、当院の個人情報管理者が保管・管理し外部への提供・公表は致しません。

6. 研究組織

研究を実施する研究機関

・慶應義塾大学先端生命科学研究所 村井 純子

既存試料・情報の提供のみを行う機関

・地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 中 紀文

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

(提供責任者名) 中 紀文

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

(TEL) 06-6945-1181 (FAX) 06-6945-1900

研究責任者：慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授 村井 純子

連絡先：住所〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2 メタボロームキャンパス内 C 棟 2 階 C13

(TEL) 0235-29-0581 (FAX) 0235-29-0574

(2019 年 3 月 25 日作成)